

- 30) E. Hofman: Stahl und Eisen (1954) p. 1464  
 31) 八幡製鉄和田氏出張報告 (1956)  
 32) 前掲 30)  
 33) 前掲 29), 30)  
 34) 前掲 30)  
 35) 前掲 29)  
 36) 前掲 30)  
 37) 前掲 25)
- 38) 城, 兎玉: 鉄と鋼 (1954) 9月特集, p. 849  
 39) Iron and Coal Trades Review (1953) Dec. p. 1401  
 H. Walde: Stahl und Eisen (1953) p. 1441  
 R. Dürrer: 熔鉱炉によらざる製鉄法 (浅井訳)  
 40) 前掲 38)  
 41) 前掲 38)

## 新らしく改正された J I S

### G 5501 ネズミ鑄鉄品について

名称は破面がネズミ色の鑄鉄ということでネズミ鑄鉄品とし普通鑄鉄, 高級鑄鉄はもちろんミーハナイト鑄鉄, 強韌鑄鉄も表1を満足すればこの規格にふくまれることとなり種類はいままで5種より FC 10, 15, 20, 25, 30, 35, の6種に改正され, その機械的性質は鑄物の肉厚に応じて供試材の鑄放し直径を変更してもよく主要肉厚の要求のない場合は 30mm の試験棒で代表できる. 抗折試験の最大荷重については試験棒が (-) 側に製作された場合に限り補正できるようになるとともに従来試験検査通則は別規格となっていたものを品質規格に試験検査の項を全面的に包含せられた.